

2018年6月8日

各 位

株式会社 みなと銀行
みなとキャピタル 株式会社

「みなと成長企業みらいファンド」による投資実行について

株式会社みなと銀行(頭取 服部博明)とみなとキャピタル株式会社(社長 庵原敬吾)が共同で設立しました「みなと成長企業みらいファンド投資事業有限責任組合」は、株式会社 chromocenter (以下「クロモセンター」という。)への投資を実行しましたのでお知らせします。

クロモセンターは、2005年に設立された鳥取大学発のバイオベンチャー企業で、2014年に神戸健康産業開発センターに進出、基幹技術である「*人工染色体ベクター」を活用し、バイオ医薬品メーカーの研究開発支援(バイオ医薬品生産細胞の製造・供給やその改良等)を行う事業を展開しております。もう一つの事業である染色体解析サービスはiPS細胞研究やバイオ医薬品生産細胞の安全性確認等に利用されており、多くの大学・研究機関や製薬会社から高く評価されております。いずれの事業も今後ますます高度化が見込まれるバイオ医薬品、再生医療の分野において、さらにニーズが高まっていくものと期待されます。また、大阪大学の研究成果に関する特許を利用し、ガン、糖尿病、希少難病疾患の治療に利用されるバイオ医薬品の製造コスト削減に繋がる研究開発も進めております。

*「人工染色体ベクター」/天然染色体から遺伝子を削除したもので、任意の遺伝子を人工染色体ベクターを利用して、様々な細胞に組み込むことができるツール。従来の遺伝子導入方法に比べて、扱うことができる遺伝子の大きさや導入後の細胞内での安定性などが優れている。

「みなと成長企業みらいファンド」では、クロモセンターの事業及び研究開発が、健康と医療の発展に貢献するとともに、成長が期待できること、及び神戸での研究拠点拡大による雇用増加等地域活性化に資することから、安定した出資の形態で資金面からサポートするものです。

大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社(社長 神保敏明)と合わせて総額150百万円の出資を行うもので、資金はGLP(安全性基準適合)施設の新設や染色体解析サービスのAI化等設備投資に活用する予定です。

みなと銀行グループでは、今後も神戸医療産業都市や健康・医療分野の発展につながる事業への出資を通じて、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

【投資案件の概要】

投資先	株式会社 chromocenter (クロモセンター) 代表取締役 松岡 隆之 (まつおか たかし)	
所在地	本社：鳥取県米子市西町 133-2 神戸研究所：神戸市中央区港島南町 6-7-4 HI-DEC 4F (神戸医療産業都市進出企業)	
事業内容	・人工染色体ベクターを活用した医薬品の研究開発支援業務 ・再生医療用 iPS 細胞等の染色体解析サービス	
投資金額	みなとキャピタル株式会社	50 百万円 (本件)
	大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社	100 百万円
投資形態	第三者割当増資による株式引受	

以 上